

札幌市立上篠路中学校
学校だより 第1号

～北斗きらめく～ 令和4年（2022年）4月8日 発行

【学校教育目標】

～明るい未来を拓く～

社会に自立する生徒の育成

【校訓】 力強く 心豊かに たゆみなく

学校HP <http://www16.sapporo-c.ed.jp/kamishinoro-j/>

発行者：校長 佐藤 孝一

上篠路

開校34年

上篠路中学校の34年目のスタート！

新しい未来を創り出す人材に！

～共感的態度を示そう！ つながろう、つなげよう！～

校長 佐藤 孝一

例年に比べ多かった雪も解け、春の陽気を感じられる頃となりました。上篠路中学校の保護者の皆様、町内会を始めとする地域の皆様、日頃より本校の教育活動にご協力とご支援を賜り厚くお礼申し上げます。本校は開校34年目を迎えます。開校時の建学精神とよき伝統を重んじ、これまで関わってくださった全ての方々の想いを受け継ぎ、**学校教育目標「～明るい未来を拓く～社会に自立する生徒の育成」**を目指し新たな取組を進めてまいります。「札幌市学校教育の重点」では人間尊重の教育を基盤に①さっぽろっ子「学び」のスキルの活用②「小中一貫した教育」の推進（校種間連携）③ICTを活用した教育の推進（情報教育）を包括的重点として示しています。本校においても、昨年度から完全実施された「学習指導要領」の実践と共にこれら3点の包括的重点に沿って学校教育を推進してまいります。

< 1学期始業式の校長講話より抜粋 >

新年度4月は、新しい仲間との出会いがあったり、明日には81名の後輩が入学します。新しい担当の先生たちとの出会いもあります。今の皆さんは、少し不安な気持ちと、新たな出会いへの期待が入り交じっていることでしょう。何事も始めが肝心、上篠路中学校の皆さん全員がよいスタートを切ることを願っています。次に皆さんに望むことをお話しします。3年生の皆さんは、見学旅行や生徒会行事など、あらゆる行事が中学校生活で最後となります。ぜひ最高学年として、後輩たちによりよいものを残してください。そして、上篠路中学校の伝統である「明るい挨拶」「心に響く合唱」「創意に満ちた生徒会」「汗と涙の部活動」を学校の文化として、伝えていってほしいと思います。これからは、進路決定という目標に向かって着実に歩んでいく必要もあります。1年後の自分を思い描き、今できることから始め、先を見通した学校生活を送っていくことを心から願います。2年生の皆さんは、中堅学年として、3年生からいろいろな場面で学びつつ、後輩の1年生を支えながら、次のリーダーを目指してこの1年に臨んでほしいと思います。特に、中学校生活への慣れから緊張感を失わないよう、規則正しい生活と学習に取り組む姿勢が大切です。毎日の積み重ねが1年後に大きな成果となるよう、自分の目標をしっかりとって学校生活を送ってください。さて、3月の修了式でお話ししました、「行為の意味」という詩の一編ですが、この詩が知れ渡るようになったのは、あの想像を絶する被害をもたらした2011.3.11の東日本大震災の後に、この詩を基にした次のようなフレーズがACジャパンの広告で繰り返し放送されたことからでした。■「こころ」はだれにも見えないけれど「こころづかい」は見える■「思い」は見えないけれど「思いやり」はだれにでも見える。このフレーズには、被害に遭われた方へ支援を送ろうという気持ちが込められています。そのためには人の心を想像するための、観察する力や共感する力が必要だということを表していると思われます。学校生活に置き換えると、仲間との人間関係を大切にし、ありのままに自分を表現し、お互いに認め合い、学び合っていこうという態度につながります。今年度は、そのことから「共感的態度を示そう!」をスローガンとして、皆さんに学校生活を送ってほしいと心から願います。最後に、新型コロナウイルスの感染状況は未だ衰えていません。私たち教職員も、学習の内容や活動の内容を工夫しながら、授業や各種行事、部活動などに取り組んでいきます。これからも皆さんには感染症予防に気を付けた学校生活を願っていますが、1人1人が力を合わせて、自分の良さを発揮し、皆がつながっている学校となることを期待して、1学期始業式の話とします。



新たに着任された先生方をご紹介します



今年度、上條路中学校に、教頭として着任いたしました濱谷です。授業をする立場ではないのですが、生徒の皆さんにとってかけがえのない3年間となるように、様々な視点からサポートしていきたいと思います。4月1日、着任の初日の朝玄関でキツネが迎えてくれました。また、昨年は熊もあらわれたと聞いています。自然豊かで、人も動物も集まりたくなるような学校なのだなあと感じています。熊は困りますが……。上條路中学校がさらにいろいろな人や地域、動物?にも愛される学校になるように、一緒に頑張りたいと思います。よろしくお願いいたします。(濱谷 剛教頭先生)

主幹教諭として着任いたしました新井拓と申します。教科は国語で所属は2学年となります。また、PTA事務局として保護者の皆様とも関わらせていただきます。コロナ禍により、同じ場所や時間を共有し学び合う学校の存在意義が改めて見直されていると感じています。上條路中学校が生徒や保護者の皆様にとって魅力的な学びの場となるよう尽力して参りますので、どうぞよろしくお願いいたします。(新井 拓先生 国語科)

北海道教育大学旭川校を3月に卒業し、今回新たに採用されました、国語科を担当します瀧澤希望と申します。地元はすぐ近くの東区で、慣れた土地での勤務となり嬉しく思っています。新採用ともあり、「初めて」が多い1年になると思いますが、生徒の皆さんと真摯に向き合い、共に成長して行けるように力を尽くします。よろしくお願いいたします。(瀧澤 希望先生 国語科)

はじめまして。山鼻中学校から参りました、鳴海有紗です。教科は理科を担当します。生徒に会えることを一番の楽しみにしてきました。慣れるまで少し時間がかかると思いますので、いろいろと教えていただけるとありがたいです。生徒が明るく伸び伸びと力をつけられるよう、微力ながら力を尽くして参りますので宜しくお願い致します。(鳴海 有紗先生 理科)

上條路中学校の皆さん、初めまして。上條路中の生徒の皆さんは、明るくて気持ちが優しく、何より合唱がとても素敵だと聞き今から楽しみな気持ちでいっぱいです。感染症対策として未だ多くの制限がある中でも、授業はもちろん、様々な活動、行事や委員会、部活動など、生徒の皆さん、保護者の皆様と一緒に実り多く充実した中学校生活を作り上げていくため、教職員一同、全力で取り組んで参ります。どうぞよろしくお願いいたします。(米田 佳恵先生 美術科・英語科)

厚別中学校から参りました高橋利幸です。上條路に早く馴染めるよう、たくさんの事を学び吸収していきたいと思います。精一杯頑張ります。よろしくお願いいたします。(高橋 利幸先生 保健体育科)

東京都にある清瀬中学校より来ました。前任校は東京でしたが、札幌育ちの道産子です。上條路ののどかな空気感、そして元気に挨拶してくれる生徒の皆さんにとっても胸が躍りました。これからの学校生活がとても楽しみです。皆さんとたくさんコミュニケーションを取りながら、技術・家庭科を面白く学んでゆけたらと思います。よろしくお願いいたします。(大高 悠馬先生 技術・家庭科)

大変のどかな立地に素敵な造りの校舎の上條路中学校に転勤となりうれしく思っています。生徒の皆さんが勉強、部活、行事等に毎日全力で取り組めるよう、先生や職員の方と協力しながら事務の仕事を進めていきます。これからどうぞよろしくお願いいたします。(平元 美香子さん 学校事務)

登別市出身。高校時代を室蘭で過ごし大学で札幌へ。広告宣伝の仕事を15年務め、二人目の出産を機に保育士になりました。絵本の読み聞かせで親子が楽しむ姿が好きなこと、3年間の図書ボランティア活動も重なり、司書の道を歩み始めました。前任の先生が築いた基礎を大切に、新しい発見をする楽しさと、本や資料・先生・友達・仲間と出会い繋がる図書館を目指します。一人でもぜひ来てください。(白戸 史絵さん 学校司書)

◎今年度も、スクールカウンセラーとして 上出 真奈 さん また、相談支援パートナー兼学びのサポーターとして大場 昭 さん 田中 潤 さん 小又 羊奈 さん が勤務されます。

学びのサポーターにつきましては、今年度から授業における個別支援等も行う予定です。全ての生徒の力を伸ばせるよう、取り組んで参りますので、ご理解とご協力のほどよろしくお願いいたします。

これからの学校生活について コロナウイルスの感染拡大防止のため、御理解と御協力をお願いいたします。



◎感染拡大を防止するための取組

- ・「登校前の健康チェック表」による健康状態の把握を継続します。
 - ・手洗いや咳エチケットの指導を徹底します。
 - ・校内では可能な限り、マスクを着用してください。
 - ・生徒全員にフェイスシールドを用意し、授業によっては着用してもらいます。
 - ・服装は「標準服とジャージのどちらでも可」とします。
- ただし、体育の授業がある日は着替えの密を避けるため、ジャージ登校とします。
- ・休み時間の水飲み場の混雑を防ぐため、できるだけ水筒の持参をお願いします。
- 水筒の中身は水かお茶とします。

